



編集・発行者 竹島紀元
 発行所 ㈱鉄道ジャーナル社
 表紙デザイン 唯野信廣
 表紙写真 長根広和
 編集スタッフ 宮原正和／三浦衛／鶴通孝
 杉浦誠／平賀尉哲／平澤崇
 版下・DTP ㈱サン・ブレーション
 印刷所 凸版印刷㈱

特集●多層建て列車と分割併合の現場

現代の多層建て列車 拡大する分割併合・増解結 長根広和 11

かもめ・みどり・ハウステンボス・さくら・はやぶさ
 西九州の分割併合を見る 鶴通孝／栗原隆司 22

最重要幹線のジャンクション 米原駅の奮闘 平澤崇／目黒義浩 34

100年近い歴史がありミステリーにも
 分割併合列車やぶにらみ 種村直樹 40

瀬戸大橋がもたらした四国の新しい列車体系 鶴通孝／沖勝則 45

列車追跡シリーズ-525 最後のリニューアル485系特急
 しらさぎ 38年目の晴れ姿 平澤崇／目黒義浩 50

今も活躍を続ける国鉄標準型特急電車
 485系の現状 編集部 60

ドイツ鉄道 れんが造りのゴルツシュタル橋で
 ディーゼル版ICE-Tを撮る 南正時 70

ICE-TDの概要 東原昭彦 74

イースト・アイ E926形 新幹線電気・軌道総合試験車の概要 萬谷太郎 75

小田急電鉄3000形通勤車両 小田急電鉄(株)運転車両部 80

◆鉄道政策ニュースを読む
 「平成14年度予算」概算要求 佐藤信之 84

RAILWAY TOPICS 86～99

只見線全通30周年を記念してSL列車を運転 真岡鐵道のC11形が旧型客車の先頭に 86

◆RAILWAY REVIEW 次世代の地下鉄を考える 種村直樹 102

◆RJ FLASH / RJ ESSENTIAL 100

◆ローカル私鉄 光と風と大地と⑭ 島原鉄道 寺田裕一 103

サハリンの鉄道2001 竹島紀元 107

樺太セメント工業(株)石灰山軌道とペルボマイスコエ線 加藤洸 115

英知の集結 テクノロジーの集大成 国々の鉄道橋めぐり 二瓶裕 119

中国 大連市電の新型車と近況 中村修一／鈴木毅一／鈴木庸久 124

Overseas Railway Topics 秋山芳弘 125

ドイツの三セクの主役・レギオシャトル 東原昭彦 125

北の残影 太平洋炭礦(株)の構内運搬用、電気軌道 竹島紀元 126

◆鉄道・軌道プロジェクトの事例研究 4
 東京急行電鉄目蒲線・大井町線・田園都市線の改良工事 佐藤信之 129

Ilfa Formosa 麗しき島——台湾

高速鉄路 建設のあゆみ(8) 齋藤雅男 144

BUS CORNER 132

多層建て列車には、線路容量の有効活用、輸送需要へ変動への対応、幹線～支線の直通運転、乗務員運用の効率化など多くのメリットがあるが、限られた輸送基盤を最大限に活用しようという現実的な施策でもあり、需要の伸びに輸送力増強が追いつかなかった1950年代半ばから60年代に各地で積極的に取り入れられた。当時は動力種別を超えた併結運転は行なえなかったため、幹線～支線の直通列車を中心に多くの場合気動車が主役であった。反面、分割併合時の時間のロスや列車ダイヤの硬直化などのデメリットもあり、幹線電化や新幹線開業にともない新たな高速列車体系が指向されて、1970年代以降は急速に縮小されている。現在、東海道新幹線が全列車16両編成であるのに対し、東北新幹線は6両から16両までの幅があり、東海道に対する東北の運転状況が多層建て列車の意義と長所短所を端的に物語っている。現代の分割併合作業は以前と比べ自動化が進み、時間も短くなったが、分割併合のための停車自体がロスでもあり、よりいっそうの研究開発が求められよう。

RAILWAY TOPICS Headline

- 東海道・山陽新幹線で10月1日ダイヤ改正
- 名鉄 4線区廃止 ワンマン拡大など効率化
- 189系くあさま・183系く踊り子を復活運転
- 西武101系を旧標準塗装の赤電として運転
- 名鉄 高山本線への直通く北アルプスを廃止
- 阪急 神宝線用5000系にリフレッシュ工事
- 「福北ゆたか線」が電化開業 くかいおう運転
- 長崎・佐世保線にも817系電車12本を投入
- 鹿島サッカースタジアム駅電化でDD51引退
- 航空・鉄道事故調査委員会が10月1日発足
- JR東日本 12月に「湘南新宿ライン」開設
- く海峡く置換えて新型特急電車789系を投入

DIARY 2001/9 97

WIDE LENS 135

新刊紹介 142

ズームレンズ／魚眼 143

鉄道記事ざっくばらん 149

CONTENTS 153

タブレット／読者論壇 154

こちら「ジャーナル編集室」／次号予告 156

〔巻末付録〕鉄道ジャーナル主要目次 2001年